


ものづくり企業バンク詳細情報

新規登録日： 2012年9月3日

最終更新日： 2017年9月30日

会社所在地等			
会社名	日本ファブテック株式会社 (旧社名 株式会社東京鐵骨橋梁)		
代表者	代表取締役社長 坂本 眞		
所在地	(本店) 〒104-0031 東京都中央区京橋2-17-4		
T E L	0835-23-5100	F A X	0835-22-9848
E - m a i l			
設立	1928年2月		
従業員数	防府工場 150名 (全社 約700名)		
年商	353億円		
県内事業所	防府工場 (山口県防府市浜方283-1)		
業種	鋼構造物の製作・工事		
事業内容	鋼構造物の製作・工事		
ホームページ	http://www.j-fab.co.jp		
概要	<p>当社は、清水建設株式会社の子会社であり、当防府工場は、2015年に当社の子会社であり、この地で事業活動を行っていた株式会社エモトを事業統合し、株式会社東京鐵骨橋梁防府工場として、その鉄骨事業を継承しました。2016年には当社と同じ清水建設の子会社である片山ストラテック株式会社と経営統合し、2017年4月、「日本ファブテック株式会社」に社名変更しました。現在は4つの工場を稼働させております。取手本社工場、熊谷工場、千葉臨海工場、そして、この防府工場です。この4工場のうち、取手本社工場、熊谷工場、防府工場の3工場は、工場の施設・技術能力・品質管理で最高の『鉄骨製作工場大臣認定Sグレード認定』を取得しており、各工場の特色を活かした製品製作をおこなっております。</p>		

我が社はこのような会社です ～ 企業理念やビジョンについて ～

<p>工場全景</p> 	<p>株式会社エモトから続く、当防府工場は昭和49年2月から、現在の鶴浜鉄工団地にあり、鋼構造物の大型化、高層化、精密化、スピード化にお応えしてまいりました。その後も、工場の拡張、設備の近代化、省力化を図り、防府市の地元貢献・地域密着の工場でありながらも、全国の顧客のニーズにお応えできる、わが国でも有数の臨海工場となり、皆様のおかげをもってここまで成長してまいりました。</p> <p>多くの皆様に支えられ今日の私たちがいることを改めて心に刻み、「文化を創造する一翼を担っている」という誇りと責任を持って製品を提供すると共に、更なる品質の向上・環境保全・コンプライアンスの徹底など企業としての社会的責任を果たしていきます。豊かな社会づくりに貢献する企業として未来へ!!私たちの挑戦にご注目下さい。</p>
---	---

我が社の強みはココです ～ 特徴的な取り組みについて ～

中関港



防府工場は、防府市中関港（瀬戸内海）に直結しその特色を十分に生かし、大型鋼構造物、橋梁等を製作し、直接世界の各地に届けています。特にモジュール式のプラント建設には、工場の能力とあいまって多大な威力を発揮し、これまでに数多くの実績を有しております。中関港には、3万トン級の船が横付け可能であり、2,000トンのモジュールも、ユニットドローで工場から直接積み込まれ、運搬費・時間が大幅に短縮されます。

防府工場には、120,000㎡の敷地に120トンクレーン他数多くのクレーンが3つの組立ヤードに設備され、橋梁の仮組・モジュールの組立が、安全にしかも経済的に作業が進められます。また、鉄骨製作工場大臣認定Sグレード（TFBS-161879）を取得し、お客様からの信用と信頼も得ております。

我が社のエースからのメッセージ

JR博多シティ



メッセージ	完成された超高層ビルを見ると、やりがいのある仕事だとわかります。
職種	技能職
専門作業名	組立工
技能の優れた点	何トンもある超高層ビルの柱、梁を製作しております。
経験年数	33年
関連する資格	鉄工技能士、玉掛技能講習、床上操作式クレーン技能講習、ガス溶接技能講習、フォークリフト運転技能講習 など

採用担当者から一言 ～ 人材育成の方針について ～

入社式



「気力」「知力」「体力」「胆力」…この4つが社会人として必要な能力といわれています。その中でまず、「気力」すなわちやる気を期待します。やる気があって、向上心があれば、貪欲に学習し、「知力」すなわち知恵・知識も備わります。「体力」すなわち身体・健康は日々の仕事で自己管理をすれば備わります。「胆力」すなわち度胸は自分自身の持ち味を最大限に発揮すれば良いのです。

「コミュニケーション力」…社内はもちろん、大手ゼネコンから業者まで、相対する人は限りがありません。明るく、人から好かれる人であることが求められます。

「全力」…全力を尽くすことで達成感は何倍にも膨らみます。何事にもあきらめずに、全力を尽くすことが求められます。

県内高校への
協力体制

企業見学	可
講話	可
技術指導	可

・随時見学可（事前申し込み必要）。見学人数は5名程度。